

Kawasaki City College of Nursing

大学案内





● 本学の特長

より上質に ➡ 一人ひとりを大切にした教育体制

修業期間3年で看護師国家試験受験資格を得られる短期大学です。
平成25年度の公益財団法人大学基準協会の認証評価により、短期大学基準に適合していると認定されており、卒業時に短期大学士の学位が授与されます。
学生一人ひとりの目標や課題を達成するための支援と学習環境が整っています。

より経済的に ➡ 公立公営の強みを生かし、少ない学費負担

学費の負担が少なく、川崎市の住民の方は入学金が半額減免されます。
奨学金、修学資金制度が整備され、多くの学生が利用しています。

より確実に ➡ 看護師としての就職率100%

充実した進路指導体制により、就職希望者の就職率は100%です。
多くの学生が川崎市内に就職し、地域に貢献しています。



Contents

- 本学の特長 … P1
- 在校生インタビュー … P2
- 教育理念、教育目標 … P3
- ディプロマ・ポリシー
- カリキュラム・ポリシー
- アドミッション・ポリシー
- 学長のあいさつ
- サポート体制 … P4
- キャンパスカレンダー
- カリキュラム … P5・6
- おもな実習施設
- プラクティス … P7・8
- 卒業生インタビュー … P9
- サークル紹介 … P10
- 施設案内 … P11・12
- 授業料・奨学金制度 … P13
- 要項請求・問い合わせ … P14
- シティガイド
- オープンキャンパス … 裏表紙
- 入試相談会、アクセス



● 在校生インタビュー



充実した学校生活

1年生 Aさん

入学した頃は、高校で学んでいない看護という分野の勉強に不安を抱えていました。
しかしこれまでの大学生活を振り返ると、多くの仲間たちとともに課題に挑むことで様々な困難を乗り越えることができ、その度仲間たちとの絆を深めてきました。看護の勉強は決して楽ではありませんが、同じ目標を持った仲間たちと協力して課題に挑むことで大きく成長できたと思います。
また、1年生の夏休み明けという早い時期に実習を経験したことで、学びに対する意欲が上がり、実習前と比べて授業に熱が入るようになりました。これから先も授業や実習を通じて多くの経験をしたいと思います、どんなことも恐れず果敢に挑戦し、人間的に厚みのある看護師を目指していきたいです。

患者さんとの関わりで大切なこと

2年生 Cさん

基礎を学習した1年生の時から学年も上がり専門性の高い学習をすることで、看護を学ぶ楽しさを感じています。
実習を重ねていく中で、私は患者さんの心の声を受け止める難しさ大切さを学びました。患者さんへより深い看護を行うためには、医療行為だけでなく、自分の人間性を磨くことと患者さんの小さなサインに気付くことが大切だと学びました。そのために看護について深く知るのはもちろん、視野を広くして、社会の様々な事柄に興味・関心を持つことや色々な世代の時代背景や特徴を知ることが必要であると感じています。
患者さんが安心して看護を任せられる看護師になれるよう、日々の積み重ねを大切にしながら大学生活を過ごしていきたいと思っています。



担任制の手厚い指導と充実した実習施設

3年生 Eさん

私が本学に入学しようと思った理由は二つあります。一つ目は担任制があることです。担任の先生には勉強や進路のことはもちろん、生活のことなどについても相談に乗ってもらっています。地方からこの大学に来て家族が近くに住んでいない私にとって先生はとても心強い存在です。また実習は1グループ5～6人で行うため先生や病棟の看護師さんから手厚く丁寧な指導を受けることができます。
二つ目は実習施設が充実していることです。病院実習のみならず保育園、保健所、療育センターやリハビリステーションなどでの実習があり、実習を通じて、将来、看護職として様々な選択肢を考えることができます。ぜひ川崎市立看護短期大学で学び、看護師として一緒に働きましょう。



実習での学びの大切さ

1年生 Bさん

1年生から看護の基礎知識や専門的な技術を学ぶことが多く、授業についていけるか心配でしたが、友達と互いに助け合う環境があり今では心配なく楽しい大学生活を送っています。
実習では、様々なことを考え、貴重な時間を過ごすことができました。学内での演習にはない多くの学びがあり、中でも特に感じたのはコミュニケーションの大切さです。患者さんへの声のかけ方一つをとっても、声のトーンや大きさを考えなければいけないと学びました。
この経験を活かして、次の実習ではもっと良い看護ができるように努力していきたいです。これからも大学での1日1日を大切に過ごし、看護師という目標に向かって多くの経験を積んでいきたいです。

実践で学ぶことの大切さ

2年生 Dさん

1年生の時から看護の基礎的な知識や技術を学び、2年生ではより専門的な内容を学んでいます。
実習では、患者さんの個性に合わせて関わり方や援助方法が変わってくるので、講義で学んだことだけでは分からないことも多く、悩むこともあります。しかし患者さんから「ありがとう」という言葉をもらったりやりがいを感じ、同時に実践で学ぶことの大切さを感じました。大変なことの多い実習ですが、同じ目標を持った友達と互いに支え合い、助け合いながら学んでいます。
これからも患者さんにとってより良い看護ができるよう、知識と技術を学び、周囲の人への感謝の気持ちを忘れずに看護師という目標に向かって日々学んでいきたいと思っています。



仲間とともに乗り越えて得た学び

3年生 Fさん

3年間を通じて専門的な技術や知識、患者さんに関わる上で大切なことを学んできました。特に実習では、一対一で患者さんに向き合う時間が多く、より患者さんの気持ちに真摯に寄り添うことを大切にしてきました。同じ疾患であっても価値観や生活背景によって看護は違ってきます。実習を通じて、個別性に着目したケアを行うことや患者さんと一緒に考えていくことの大切さを学ぶことができ、看護観を深めることができたのではないかと思います。
また、3年間喜びや迷い、ときに困難なことも乗り越えてきた同じ看護師を目指す大切な仲間がいたことが心強かったです。学生としての学びを大切に、これからも学び続けていきたいと思っています。





教育理念

生命の尊厳と人間の理解を基盤に豊かな人間性を培い、思いやりの心と専門的知識に基づいた的確な判断力、健康支援のための看護実践能力を有し、主体性をもって行動できる人材を育成する。
さらに、生涯にわたり専門性を追究し、保健医療福祉チームの一員として地域社会に力強く貢献できる人材を育成する。



教育目標

- (1) 人間を深く理解する幅広い教養と、相手を尊重できる豊かな感性、健康な心身を育む能力を養う。
(2) 論理的・科学的思考により、対象の健康状態を的確に捉え必要な看護を判断できる能力を養う。
(3) 個人、家族および地域の人々それぞれに応じて、看護を実践できる能力を養う。
(4) 保健医療福祉チームの一員として地域社会に力強く貢献できる能力を養う。
(5) 生涯にわたって看護の専門性を主体的に追究できる態度を養う。



学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

3年以上在学して、教育理念・教育目標に沿った所定の授業科目を履修し、基準となる単位を修得することが、学位授与の要件である。なお、基準となる単位は合計100単位であり、そのうち必修科目は97単位、選択科目は3単位である。



教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

教育理念の実現・教育目標の達成のために以下の方針で、教育課程を編成し、実施する。授業科目は、幅広い教養と豊かな感性を基盤として対象の状態・状況に応じた看護実践を行うことができるよう「人間理解の基礎」「人間と健康」「基礎看護」「発達段階・状況に応じた看護」「看護の統合」「臨地実習」の6区分で構成する。
また、カリキュラムの運用においては、授業形態としての講義・演習・実習を有機的に連関できるよう講義では知識を修得し、演習では講義で修得した知識についての理解を深め、実習では講義と演習での学びを活用して対象の状態・状況に応じた看護実践ができるようにする。



入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

本学は、医療の高度化、専門化に十分対応でき、豊かな感性を持ち、地域社会に根ざした看護専門職として生涯前向きに学び続ける人を求めている。

学長のあいさつ

本学は平成7年4月、「看護に関する高度の知識及び技術について教授研究し、併せて豊かな教養と人格を備え、社会の保健医療の向上に寄与しうる有能な人材を育成する」ことを目的として開学しました。卒業生は、川崎市内をはじめ各地域の医療現場で活躍しています。
現在、看護専門職には、人々が住み慣れた地で自分らしい生活をおくれるよう、医療・介護・予防などを充実させる「地域包括ケア」の推進者としての役割が求められています。
皆様が、看護専門職に必要な知識・技術を学び、これからの看護を担うかけがえのない人として成長していくことを願い、教職員全員でサポートします。
さあ、ともに学びましょう!

坂元 昇



サポート体制

担任制

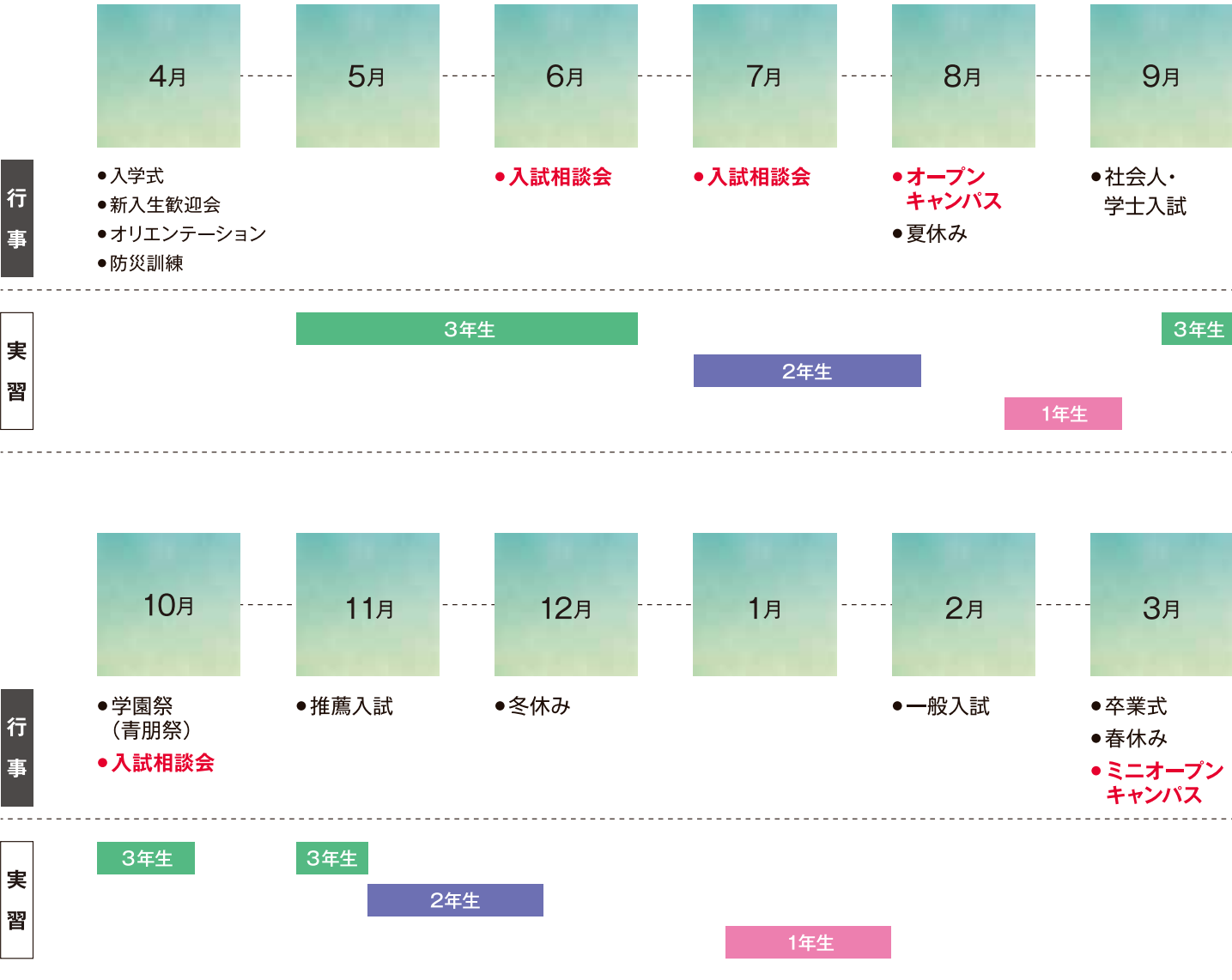
早期に学生生活に適応し、円滑に学習継続できるよう、担任制をとっています。
学習面や進路の悩みなど、学生生活における相談窓口として、支援やアドバイスをこなっています。
1年生と2年生は、学生生活の早期対応と円滑な学習が継続できるよう、10~12名の学生に対し2名の教員が担当します。3年生は、国家試験の学習や卒業後の進路相談ができるよう、5~7名の学生に対し1名の看護系教員が担当します。
また、担任教員以外でも、本学の教職員全員が相談にいつでも応じ、学生生活を全面的にサポートしていきます。

健康管理

健康管理に関しては、定期健康診断を毎年実施するほか、希望者に対し校医による健康相談を毎月1回、カウンセラーによる学生相談を毎週1回行っています。
健康相談室(保健室)には看護師が月曜日から金曜日まで在室し、ちょっとしたケガの処置や学生の心身の健康相談、予防接種の相談のほか、誰かに話を聞いてもらいたい時など気軽に利用でき、必要時は、校医やカウンセラーへの橋渡しも行います。体調不良時に休めるベッドや体組成計付き体重計、身長計、血圧計などを備え、学生自らが利用し主体的に自己の健康を増進できるようサポートしています。



キャンパスカレンダー



生命の尊厳と人間理解を基盤に、自ら考え、課題を解決する力や豊かな人間性を育むためのカリキュラムを用意して います。

授業科目一覧表・卒業要件一覧表

科目区分	1 年前期			1 年後期			2 年前期			2 年後期			3 年前期			3 年後期			合計単位数 (授業時間数)	卒業要件単位数							
	授業科目	単位数 必修	授 業 選択 時間数	授業科目	単位数 必修	授 業 選択 時間数	授業科目	単位数 必修	授 業 選択 時間数	授業科目	単位数 必修	授 業 選択 時間数	授業科目	単位数 必修	授 業 選択 時間数	授業科目	単位数 必修	授 業 選択 時間数		必修	選択	合計					
人間理解の基礎	健康体力科学	1		30	医療英語	1		30	芸術 音楽		1	30	統計学	1		30				17 (435)	11	3以上	14以上				
	論理的思考の基礎	1		15	フィットネスエクササイズ		1	30					生命倫理学	2		30											
	英会話	1		30	生涯スポーツ		1	30					芸術 美術		1	30											
	人間関係論	1		30	歴史と人間		1	30																			
	人間発達論	2		30	芸術 美術		1	30																			
	生活と人間工学	1		30																							
	生活と環境		1	30																							
	芸術 音楽		1	30																							
人間と健康	人体構造機能学Ⅰ (人体の構造)	2		60	臨床検査学	1		30	病態治療学Ⅱ(非手術療法を主とする病態・疾患)	2		45	病態治療学Ⅳ(小児・生殖器・特殊感覚器疾患の病態・治療)	1		30				21 (540)	21		21				
	人体構造機能学Ⅱ (人体の機能)	2		60	病理学	1		30	病態治療学Ⅲ(手術療法を主とする病態・疾患)	1		30	社会福祉学	1		30											
	栄養と代謝	1		30	病態治療学Ⅰ (全身性疾病・生活習慣病の病態・治療)	2		60	看護情報学	1		30	医療関係法規	2		30											
	感染制御学	1		15									公衆衛生学	2		30											
基礎看護	看護学概論	2		45	看護過程の基礎	2		45	看護方法Ⅳ (診療の援助技術 2)	2		60								11 (300)	11		11				
	看護方法Ⅰ (生活行動の援助技術)	2		60	看護方法Ⅱ (身体診査の技術・指導技術)	1		30																			
					看護方法Ⅲ (診療の援助技術 1)	1		30																			
					看護とコミュニケーション	1		30																			
発達段階・状況に応じた看護	成人看護学概論	1		30	成人看護方法Ⅰ (回復期にある人の看護)	1		30	成人看護方法Ⅲ (急性期にある人の看護)	1		30	成人看護方法Ⅴ(周手術期にある人の看護)	1		30				26 (645)	26		26				
					成人看護方法Ⅱ (終末期にある人の看護)	1		30	成人看護方法Ⅳ (慢性期にある人の看護)	1		30	老年看護方法Ⅱ (状態に応じた看護)	1		30											
					老年看護学概論	2		30	老年看護方法Ⅰ (生活機能の維持増進)	1		30	小児看護方法	2		60											
					精神看護学概論	2		30	小児看護学概論	2		30	母性看護方法	2		60											
					在宅看護概論	2		30	小児看護学概論	2		30	精神看護方法Ⅱ(精神看護における援助技術)	1		30											
									精神看護方法Ⅰ (精神障害と看護)	1		30	在宅看護方法Ⅱ (対象別看護)	1		30											
									在宅看護方法Ⅰ (援助技術)	1		30															
													看護と研究	1		30	看護管理	2						45			
																	災害看護	1						30			
																テーマ別看護論	1		30								
看護の統合																				5 (135)	5		5				
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ (生活行動の援助 1)	1		45	基礎看護学実習Ⅱ (生活行動の援助 2)	2		90	成人看護学実習Ⅰ(回復期・慢性期にある人の看護)	2		90	成人看護学実習Ⅱ(さまざまな健康レベルにある人の看護)	2		90	成人看護学実習Ⅲ(周手術期にある人の看護)※通年	2		90	23 (1,035)	23		23			
									老年看護学実習Ⅰ (発達課題と健康)	1		45					老年看護学実習Ⅱ(健康状態に応じた看護) ※通年	2		90							
									老年看護学実習Ⅰ (健康な小児の理解)	1		45					小児看護学実習Ⅱ(健康状態に応じた看護) ※通年	2		90							
																	母性看護学実習 ※通年	2		90							
																	精神看護学実習 ※通年	2		90							
																	在宅看護論実習 ※通年	2		90							
																	テーマ別看護論実習	2		90							
合計																		103 (3,090)	97	3以上	100以上						

おもな実習施設の紹介



川崎市立川崎病院(川崎区)



川崎市立井田病院(中原区)



川崎市立多摩病院(多摩区)

そのほかの実習施設一覧

- 聖マリアンナ会東横恵愛病院
- かわさき老人福祉・地域交流センター
- 川崎市南部地域療育センター
- 川崎市北部リハビリテーションセンター
- 川崎市立保育園
- 済生会横浜市東部病院
- 川崎市各区役所保健福祉センター
- 川崎市内訪問看護ステーション 他